

3年生 卒業までの カウントダウン！ ～ 完璧を目指すより まずは最後までやり遂げよ ～

3年生は、すでに2月10日からの私学入試と2月16日からの公立前期選抜という大きなヤマ場を乗り越え、今は最大のヤマ場となる3月8日の公立中期選抜に向けて最後の力を振り絞って全力で取り組んでいるところです。進路実現を目標に、学校運営協議会のご協力のもと、学生ボランティアや3年の先生方に支えてもらいながら1月より毎週取り組んできた3年生の土曜学習会も、残すところ明日2月27日の1回のみとなりました。

この学習会の初回には毎年恒例となっている「合格祈願だるま」が披露されました。これは、運営協議会の方が、西ノ京中3年生の全員合格を祈願して、毎年準備してくださっています。全員で行った「じゃんけん」で勝ち抜いた幸運の持ち主に代表で目入れをしてもらいました。さらに、一番下には“合格をつかむ”にかけて“五角の吊り輪”がついているので、それをしっかりつかんで記念写真を撮ってもらう人もいました。その後、この「だるまさん」は、運営協議会の代表の方に北野天満宮まで連れて行ってもらい、合格祈願の白いお守りをつけて戻ってきました。きっと3年生全員の進路が実現するまで皆さんを見守ってくれることでしょう。また、私学入試1週間前の学習会では、終了後に理事の皆さんから“五角（合格）鉛筆”とお手製のお守りのプレゼントもありました。これまでの道のりを思い出しながらラスト1回、頑張りましょう。



そこで、そんな追い込みの時期にふさわしい言葉を以前に見つけましたので、ここに紹介しておきます。

『Done is better than perfect.』 (完璧を目指すより、まずは終わらせろ)

これは、フェイスブックの創始者であるマーク・ザッカーバーグ氏が会社のスローガンとしている言葉のひとつで、右下のイラストが会社のオフィスに飾られているそうです。

このイラストの意味はというと…

クッキーづくりのイラストが2種類。
「Which one would you prefer?
(どちらがお好みですか?)」。と問
いかけられています。



左の絵は「No cookies because the ingredients weren't perfect. (材料が足りないからクッキーを作れない。【だから何も食べられない】)」。

右の絵は「Imperfect chocolate chip cookies. (不完全なチョコレートチップ・クッキー。【でも、食べられる】)」。

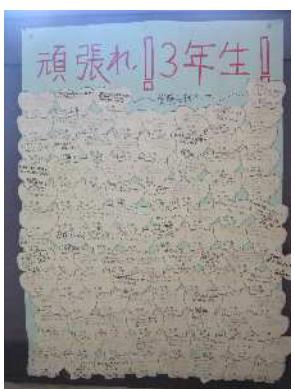
材料が足りない。時間がない。そう言っているばかりでは、いつまでたってもクッキーは食べられません。まずはクッキーを作りましょう！ 話はそれからです。ということをフェイスブック社はスローガンにしているそうです。

入試も中学校生活も残された時間はあと少し。最後は体調も整えながら、ぜひ悔いの残らないように全力で取り組んでくれることを期待しています。

また、すでに進路が内定した生徒もいますが、その人たちも自分自身の進学準備として、そして、これから公立中期選抜に臨む仲間たちのためにも、最後まで気を抜かず学校生活を送ってください。

校内では、3年生を応援しようと、1・2年生一人ひとりが書いたメッセージや美術部のメンバーが制作した“だるまさん”“キットカット”“ポジティブ英単語帳”“かつ丼”など、工夫を凝らした装飾を、3年生の教室があるフロアーや階段に掲示をしてくれています。そんな後輩応援団も含めて「受験は団体戦！」です。オール西ノ京で頑張りぬきましょう！

なお、3年生は、3月9日より卒業前行事に入り、卒業証書授与式は、3月15日（月）午前10時開式となっています。このコロナ禍において、昨年度と同様、感染防止対策をとった上で、参列者を制限して、通常とは異なる式次第により時間短縮を図りながら実施させていただきますのでご了承ください。9時55分には3年生が入場いたしますので、参列される3年生保護者の皆様は9時50分までにはご入場いただきますようお願いいたします。



2年目の朝鑑賞 ~ アンケート結果を踏まえて ~

2月26日（金），取り組んで2年目の朝鑑賞もいよいよ今年度最終回となりました。今年も朝鑑賞を始めるにあたって、取組の意義を次のように確認しました。

考えたりするもとになる絵の見方に正解はありません。「きれい・おもしろい・不思議」「気持ちいい・悪い」「何となく好き・嫌い」など、直感的に感じることも、よく考えてみると自分がそう感じた理由が必ずあります。また、自分はそう考えていても、他の人の違った意見を聴くことで、自分にはそれまでなかったことに気づくこともあります。

学校で学習するということは、「答えのある問題に対してその正解を探す」ことだけではありません。「答えのない、何が答えかわからない問題に対しても、それに挑戦し、みんなで協働してそれぞれが納得できるような答えを探していく」ということも、これからの中を生きていくうえでとても大切です。

この「朝鑑賞」の取組が、みんなで一緒に考える楽しさを味わい、何事にも『Just Do It！（まずはやってみよう！）』という前向きな気持ちを持つきっかけになればと願っています。

そこで、今回、初めてアンケートをとってみました。結果は下の通りです。また、自由記述の感想を読んでみると、みんな友達との意見交流をしながらそれなりに楽しんでくれていることがわかりました。

そのひとつ要因として、協力していただいている京都市立芸術大学の学生さんの作品が多彩であることです。毎回、個性的な絵をみて考えることで「想像力」や「他者の考えを受け入れる力」も自然とアップしているのではないでしょうか。コロナ禍により11月からの短い取組でしたが、意識して続ければアンケート

のような多様な力が必ず身につきます。そして、その力は他教科や生活の中で生かすことができる力となります。今回の結果は今後の取組の改善につなげていきたいと思います。ありがとうございました！



朝鑑賞についてのアンケート(令和3年2月)	A+B	A	B	C	D
	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
1 朝鑑賞にしっかり取り組んでいる。	88.7%	49.1%	39.6%	9.2%	2.1%
2 絵のように決まった答えがないものについて、自分なりに考えることは楽しい。	77.9%	39.1%	38.8%	16.7%	5.4%
3 朝鑑賞を続けると、「考えたことをまとめて発表する力」が身につくと思う。	78.0%	42.0%	36.0%	19.0%	3.0%
4 朝鑑賞を続けると、「観察力」が身につくと思う。	86.0%	53.3%	32.7%	10.7%	3.3%
5 朝鑑賞を続けると、「他者の考えを受け入れる力」が身につくと思う。	85.4%	46.4%	39.0%	11.9%	2.7%
6 朝鑑賞を続けると、「想像力」が身につくと思う。	91.7%	59.2%	32.4%	5.7%	2.7%
7 朝鑑賞を続けると、「正解のない課題に向き合う力」が身につくと思う。	85.1%	49.9%	35.2%	11.9%	3.0%
8 朝鑑賞の取組は、他の教科の学習や生活の中で生かすことができる。	74.0%	33.4%	40.6%	18.5%	7.5%